

平成23年11月26日

荒井小学校用地仮設住宅人工芝ショートテニスコート開き主催者代表挨拶

認定NPO法人マナーキッズプロジェクト理事長 田中日出男

はじめに、3月11日に発生した東日本大震災によって、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げます。

ここに、一アメリカ人が記した、日本から学ぶ10の事例という文章があります。

1 冷静な態度、2 尊厳を持った対応、3 潔い無私な振る舞い、4 秩序ある行動、5 犠牲的な行動等です。東北の皆様方の態度・行動によって改めて世界の方々から我々日本人が見直されている訳で心より感謝申し上げます。

本日、ここに荒井小学校用地仮設住宅人工芝ショートテニスコート開きを開催しますが、全国で初めての人工芝ショートテニスコートをご提供頂きました住友ゴム様、ダンロップスポーツ様、そして、活動資金をご提供頂いております三菱商事東日本大震災復興支援助成金をはじめとする特別協賛、協賛、賛助企業の皆様、個人の皆様に厚くお礼申し上げます。また、仙台市、若林区、荒井小学校仮設住宅自治会、宮城県テニス協会、宮城県ソフトテニス連盟、佐沼ロータリークラブ、本日佐藤直子理事長がお見えでございますが、公益財団法人日本プロテニス協会の皆様のご理解、ご協力に心よりお礼申し上げます。

マナーキッズプロジェクトは、全国の幼稚園園児・小学生児童に、本日お見えの小笠原流礼法鈴木万亀子総師範のご指導により、日本の伝統的な礼法を体験し、〈体・徳・知〉バランスの良い子どもを育てるべく活動しております。既に44都道府県において約650回開催し、約69,000人の幼稚園園児、小学生児童が参加しました。昨日は、仙台市立鶴巻小学校においてマナーキッズテニス教室を開催しました。子どもは教えれば変わる、礼儀正しさのDNAは残っていると確信しております。

長期にわたる避難生活では、「体」と「精神」を動かす重要性が指摘されております。誰でも気軽に出来るショートテニスで「体」を動かすきっかけにして頂きます。また、小学校、幼稚園他で開催するマナーキッズショートテニス教室に指導者としてご参画頂き「精神」を動かして頂きたいと考えております。

テニスの経験がなくてもご心配はいりません。指導の仕方は、開催当日お教えいたします。皆様方のご参画をお願いします。

我が国は、今から百数十年前までは、世界で一番礼儀正しい、節度ある民族と言われておりました。今は残念ながらそうではありません。我々のプロジェクトは、再度そういわれることを目標にしております。相当時間がかかると思っておりましたが、今回の東日本大震災で示された皆様方の素晴らしい態度・行動を見て、これはいけるのではないかと考えております。マナーキッズを通じて更に磨きをかけ、次の世代に受け継いで頂き、荒井小学校用地仮設住宅発で、宮城県、日本、世界に発信頂ければ幸いです。

ありがとうございました。